

同窓会あれこれ

嚶鳴同窓会 会長 鈴木よし子

年明けから新型コロナウイルスの蔓延により、世界中が騒然とした状況に陥っております。会員の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。山形県でも感染者が増加し、学校は年度末からの休校措置が延長され、年度始めの忙しい時期に急な変更を余儀なくされ対応に追われているようです。

お蔭さまで、同窓会としましては、学校のご配慮により、2月29日に同窓会入会式を縮小・変更はありましたが、中止することなく実施でき、ほっとしておりました。卒業生の皆さんを新しい仲間としてお迎えし、同窓会表彰、新クラス幹事の委嘱等、例年通りに行いました。感染防止対策のため在校生の居ない中での表彰式は残念でしたが、新会員の皆様には、「全力主義」の嚶鳴精神を発揮してそれぞれの目標にむかって邁進されますよう期待しております。そして、今度は同窓会の場で再会できますように、楽しみにお待ちしております。

会員の皆様に大事なご報告とお願いがございます。

このたび同窓会費を値上げさせていただくこととなりました。本会の会費は、二段構えになっており、入会時に一人あたり、入会金3,000円、会費3,000円（卒業後20年分）を納付する。その後実質的に会員活動が始まる総会当番学年になる卒業後20年後からは、クラス毎に年3,000円を納める。こういうやり方で長年やってまいりましたが、近年の少子化の影響で西高は3年前から、1学年200名となりました。かつては1学年300名を超える時代もあったことを考えると、大幅な会員減少、またクラス数も1学年6、7クラスあったのが、5クラスとなっており、収入減は避けられない事態が続いてきました。

全員平等の視点から、まず現行制度のまま未納付のクラスをなくす努力をしようとして、事務局から会費納入のお知らせを出す時に各クラスの納入記録を同封し、自覚を促しました。これを数年続けましたところ未納付は格段に減りましたが、そこへ消費税のアップがあり苦しい状況は改善されず、やむなく昨年5月、8月の評議員会で値上げの検討し賛同を得て、決定となりました。その後、11月の総会で報告、承認をいただいております。

新しい会費の取り決めは、入会金は据え置き、入会時の個人納付金を5,000円に、各クラス納付金を年間5,000円に上げるというものです。何かと出費の多いところに恐縮ですが、何卒ご協力をお願い申し上げます。特にクラス幹事の皆様にはご苦勞をおかけいたしますが、よろしくようお願い申し上げます。

以前より何度も個人会費にしようという動きがあり、これも検討課題なの

ですが、個人会費に移行すると事務経費が格段に跳ね上がり、収支のバランスが取れるかの不安が払拭できず、今回は見送りました。

よその同窓会に比べれば少ない予算ですうっと活動を続けてきた先輩方のご努力を思い、無駄な経費削減に努めながらも、会としての活動の幅を狭めることのないように考えていくことが、私共三役の最重要課題かと思えます。今後ともよろしくお願い申し上げます。ご意見をお寄せいただければ有難く存じます。